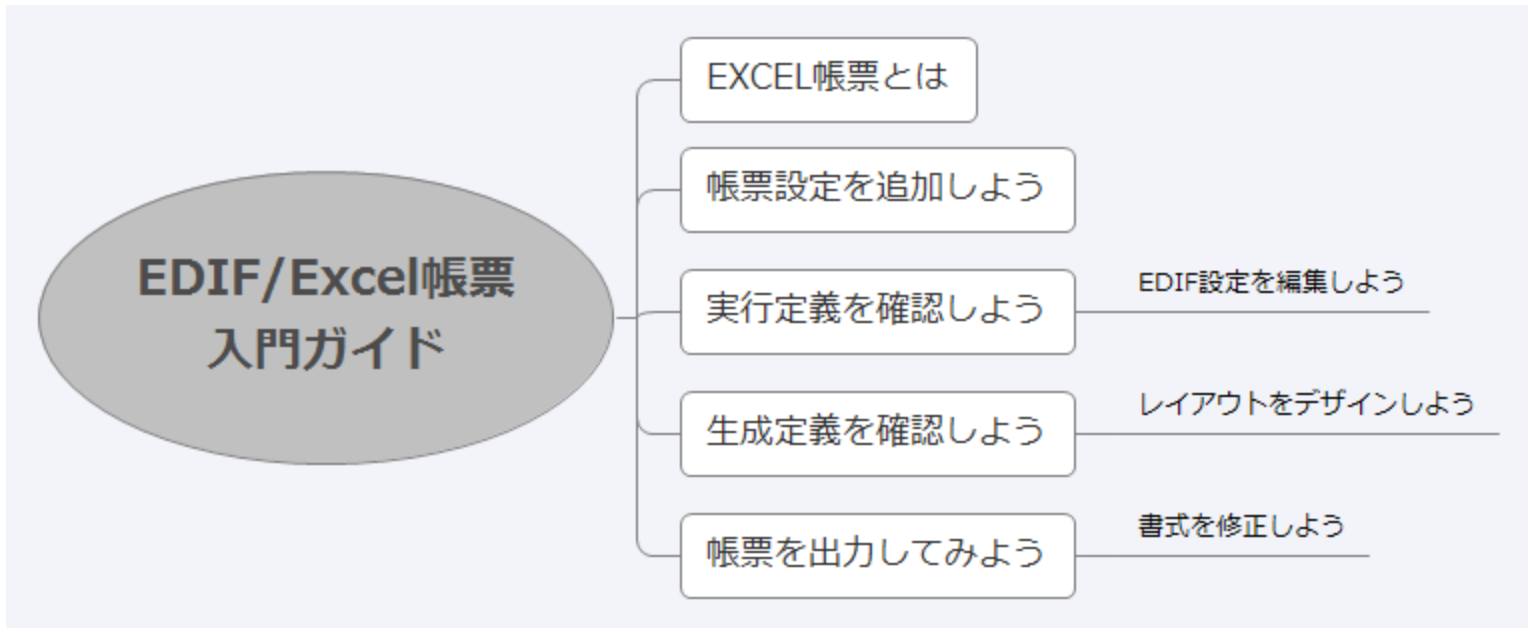


# FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド

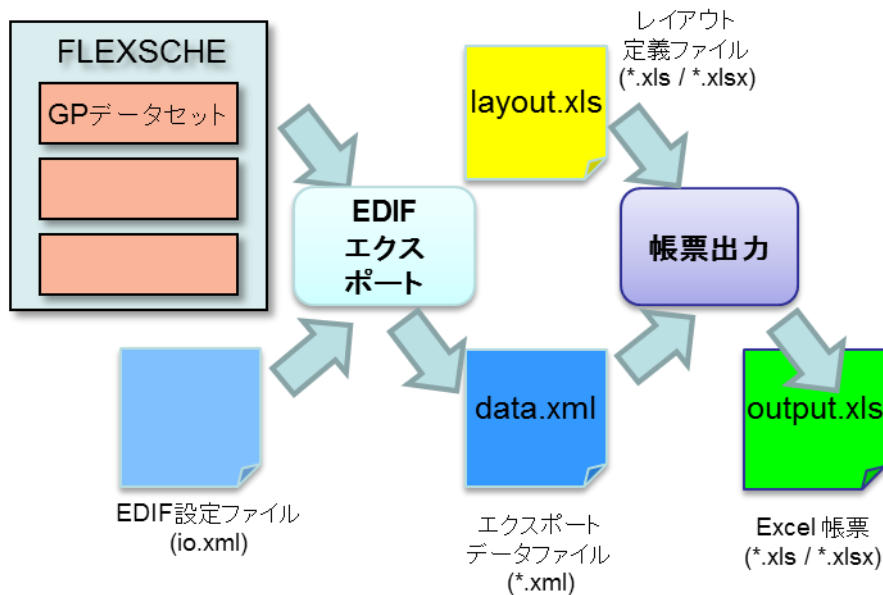


# 目次



# EXCEL帳票とは

- EDIFを用いて出力された一時データを元に、それをEXCEL形式の帳票として出力する機能です。
- 利用するにはFLEXSCHE EDIF の他、Microsoft Excel 2003以降が必要です。
- レイアウトデザインもEXCELで行うので、多くの方に操作に抵抗なく編集していただけます。



作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000 検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000 組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000 切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000 切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001 梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001 検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001 組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001 切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001 切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002 梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002 検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002 組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002 切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002 切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003 梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003 検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003 組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003 研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003 切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004 梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

- この入門ガイドでは「EDIF入門ガイド」に引き続き、簡単な作業指示書を出力します。
- 本項の部分から体験したい場合はサンプルデータ「EDIF入門ガイド2」をご利用いただけます。その場合は「EDIF入門ガイド」p.4「プロジェクトを複製しよう」を参考にサンプルプロジェクトを複製してご利用ください。

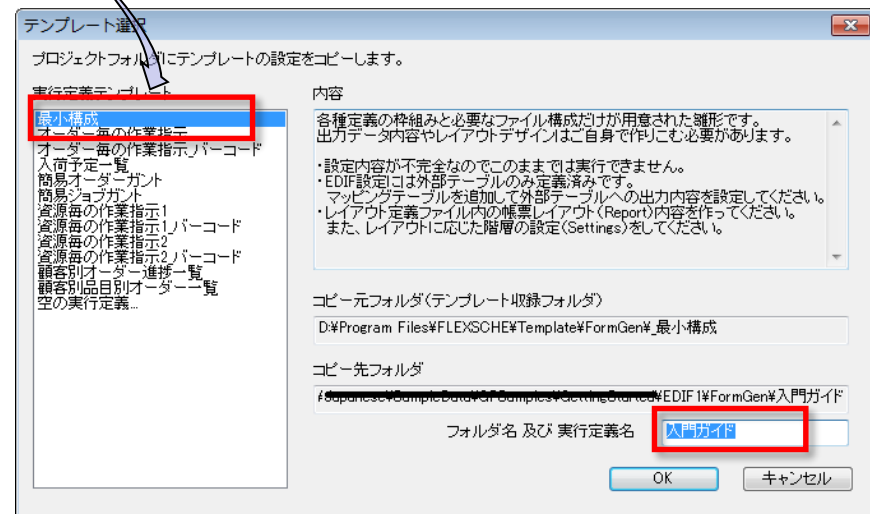
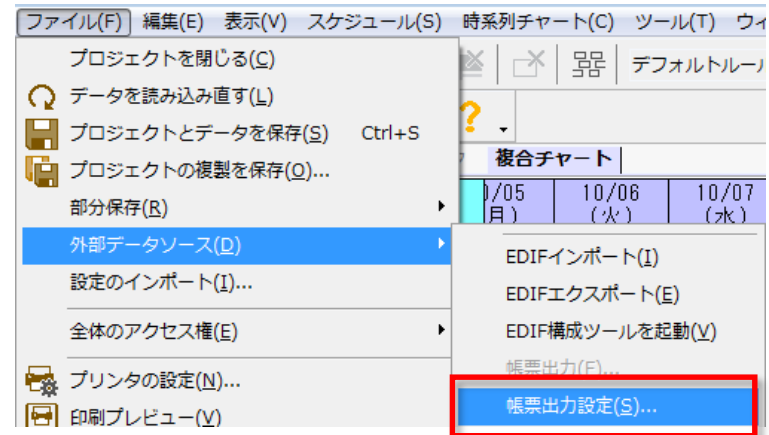
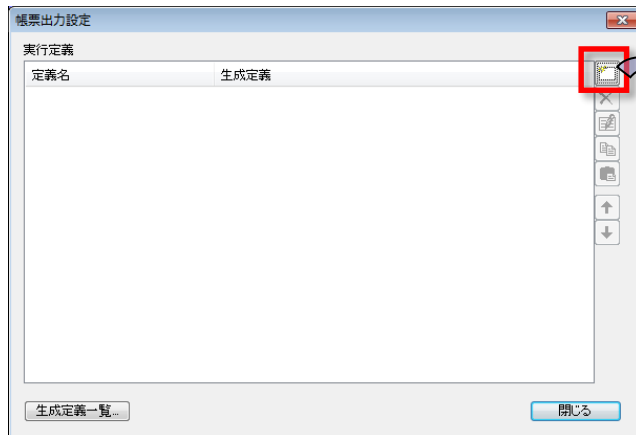
- それでは、EXCEL帳票の出力までを実際に体験してみましょう。

## 最終出力物イメージ

# 帳票設定を追加しよう

メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力設定」を選択してください。

実行定義一覧画面が表示されますが、今はまだ設定がありません。設定を追加しましょう。



帳票の設定情報は構成が少し複雑です。簡単に設定を作れるようにテンプレートがいくつか用意されています。今回は「最小構成」を選択してください。フォルダ及び実行定義名は「入門ガイド」という名前にして「OK」してください。

# 実行定義を確認しよう

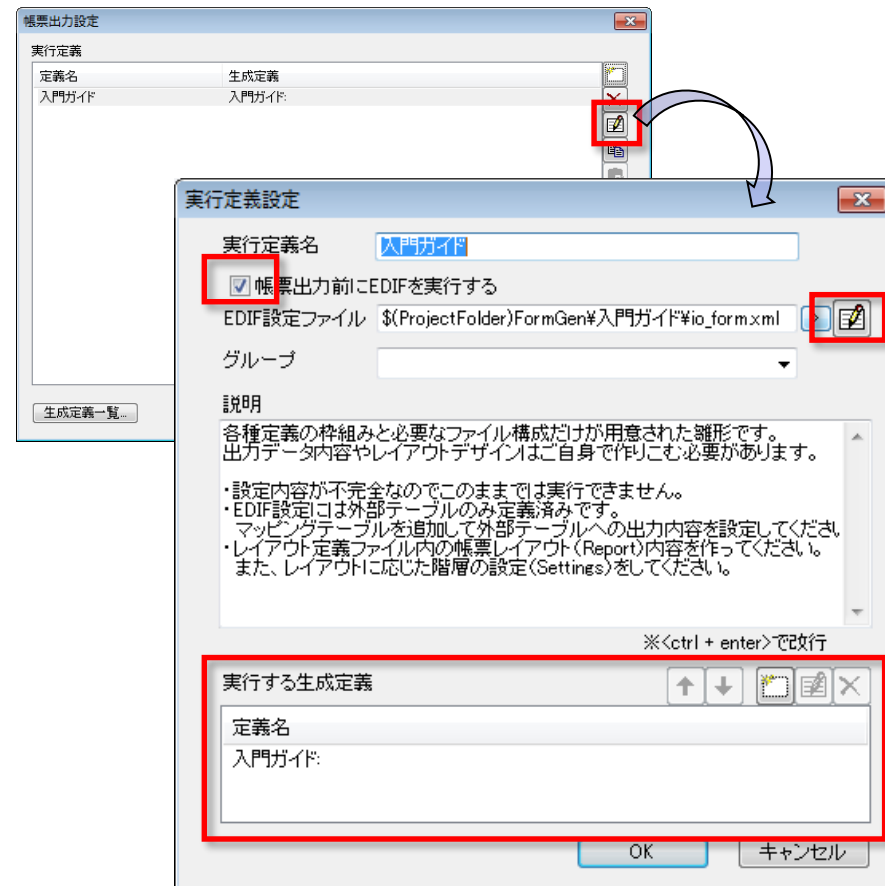
帳票を出力するには1つの実行定義と1つ以上の生成定義という設定情報が必要です。  
 テンプレートから定義を作ると、自動的に各定義1つずつ(実行定義[入門ガイド]、生成定義[入門ガイド:])作られます。  
 まず実行定義の内容を確認します。編集画面を開いてください。

## 実行定義


帳票出力処理の呼び出し単位となる設定です。  
 以下の情報を管理します。

- ・ EDIF設定  
 帳票内容を構成するデータをEDIFエクスポートによって出力します。  
 編集ボタンを押すとEDIF構成ツールを呼び出して編集できます。
- ・実行する生成定義  
 [入門ガイド:]という生成定義がすでに含まれています。どのような帳票を  
 出力するのかはこの定義で決まります。

EDIF設定ファイル欄にある編集ボタンを押して、  
 EDIF構成ツールを起動してください。



# EDIF設定を編集しよう

EDIF構成ツールを使ってEDIF設定情報を作っていきます。まず  ボタンをクリックしテーブルマッピングを追加します。設定画面が開くので以下のように設定してOKしてください。

テーブルマッピング名: test  
任意の名前です。分かりやすい名前をつけてください。  
今回は「test」としました。

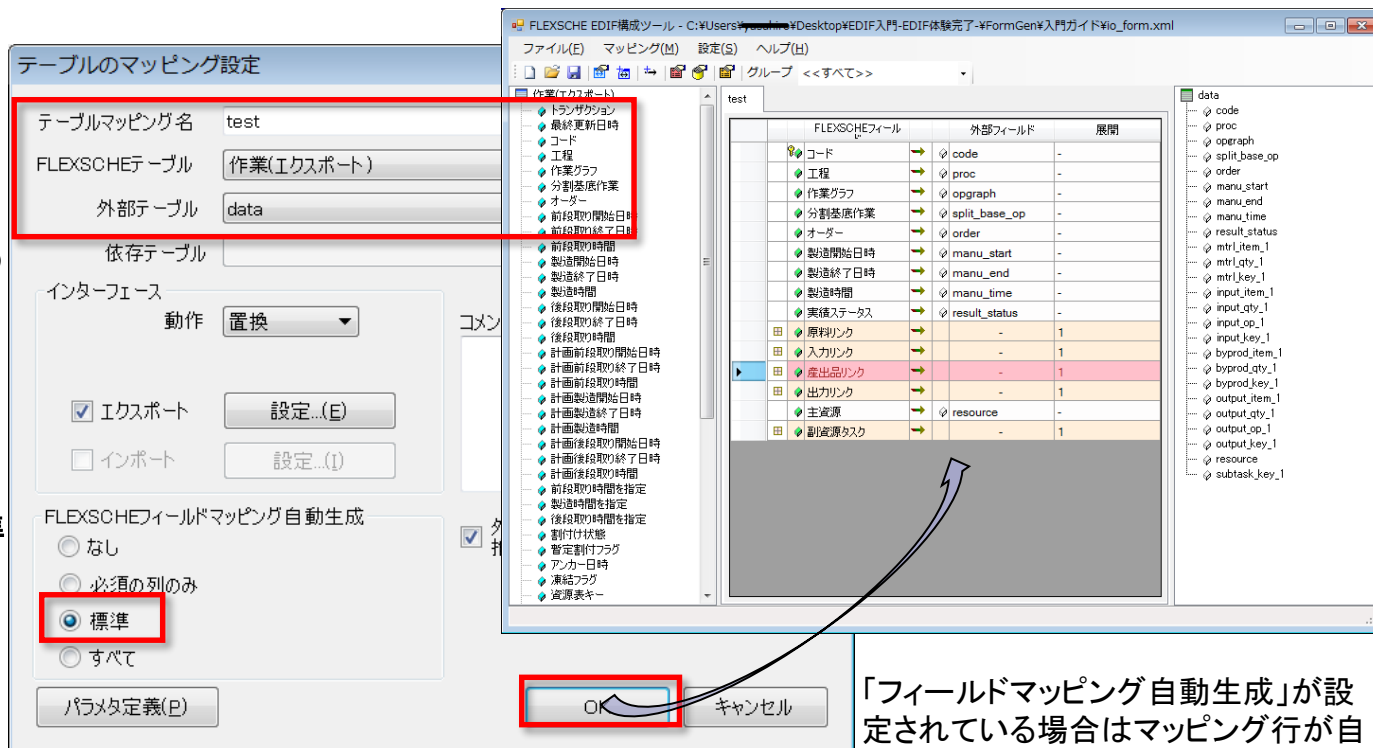
**FLEXSCHEテーブル: 作業(エクスポート)**

作業指示書を作るので、各作業の情報を出力します。

**外部テーブル: data**

定義済み外部テーブルを指定します。

**フィールドマッピング自動生成: 標準**



テーブルのマッピング設定

テーブルマッピング名 test

FLEXSCHEテーブル 作業(エクスポート)

外部テーブル data

依存テーブル

インターフェイス 動作 置換

エクスポート 設定...(E)

インポート 設定...(I)

FLEXSCHEフィールドマッピング自動生成

なし

必須の列のみ

標準

すべて

パラメタ定義(P)

OK キャンセル

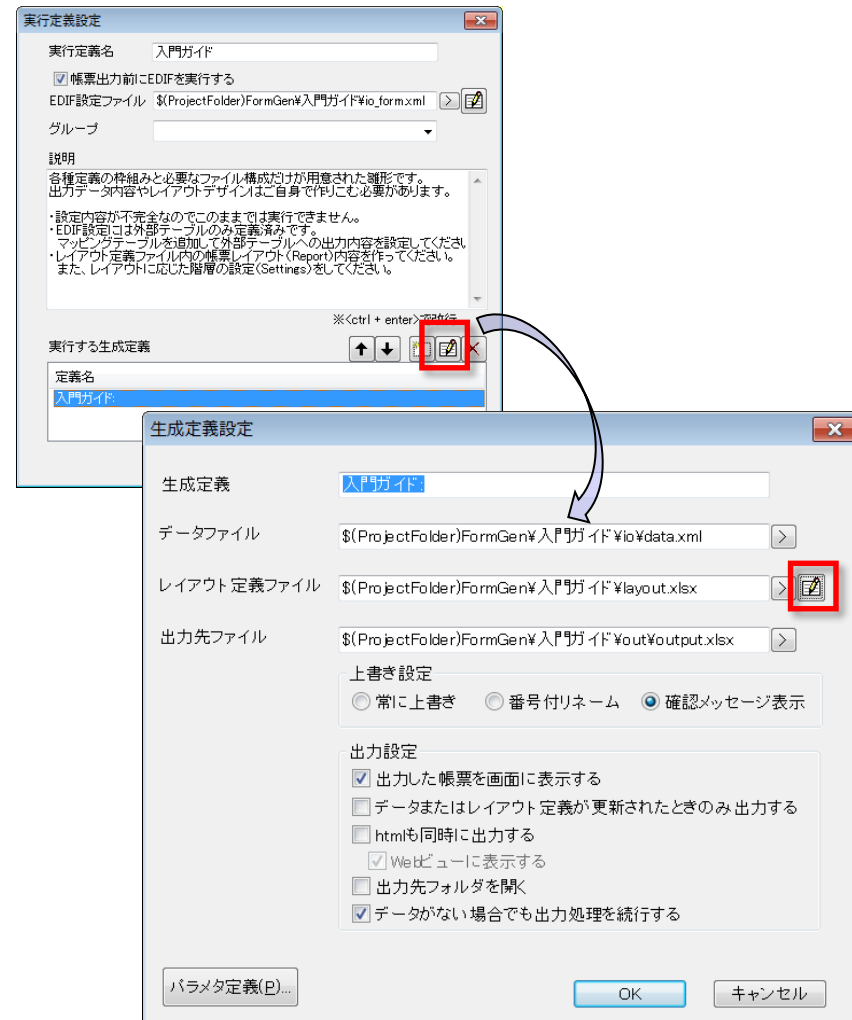
「フィールドマッピング自動生成」が設定されている場合はマッピング行が自動的に作られます。

FLEXSCHEフィールド	外部フィールド	展開
コード	code	-
工程	proc	-
作業グラフ	opgraph	-
分割基底作業	split_base_op	-
オーダー	order	-
製造開始日時	manu_start	-
製造終了日時	manu_end	-
製造時間	manu_time	-
実績ステータス	result_status	-
原料リンク	-	1
入カリンク	-	1
産出リンク	-	1
出カリンク	-	1
主資源	resource	-
副資源タスク	-	1

これで、data.xmlに作業情報を出力するための設定ができました。保存してください。

# 生成定義を確認しよう

次に生成定義の内容を確認します。実行定義設定画面の下部にある生成定義[入門ガイド:]の編集画面を表示してください。



## 生成定義

帳票を構築するために必要な各ファイルパスを管理します。

### ・データファイル

帳票の中身となるデータファイルを指定します。  
先程のEDIFエクスポートによって出力されるデータファイルパスがすでに指定されています。

### ・レイアウト定義ファイル

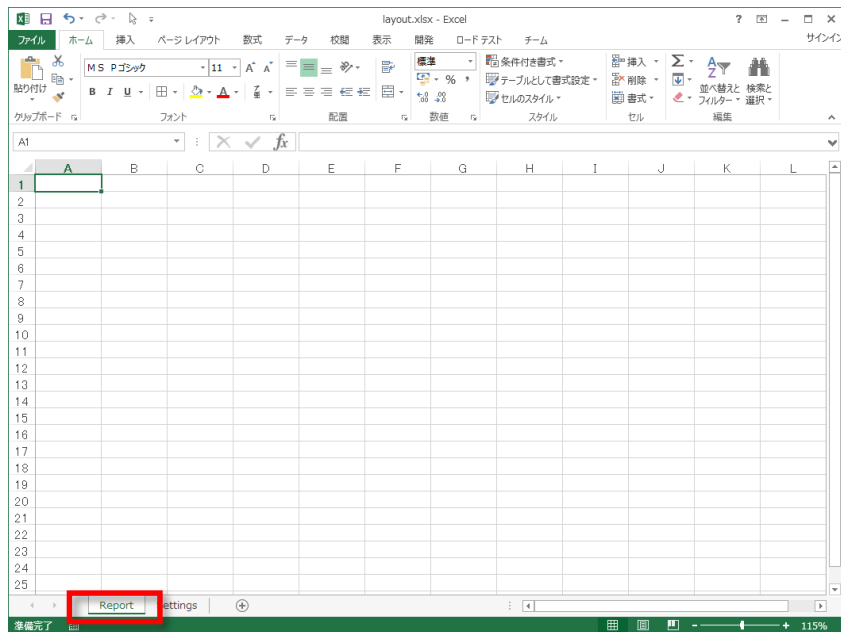
帳票デザイン用のEXCELファイルを指定します。  
テンプレートから作ったのでファイルは自動的に用意されていますが、「最小構成」の場合はレイアウト内容がまだありません。  
編集ボタンを押すとEXCELが起動してファイルを編集できます。

### ・出力先ファイル

生成した帳票ファイルの出力先パスを指定します。

# レイアウトをデザインしよう

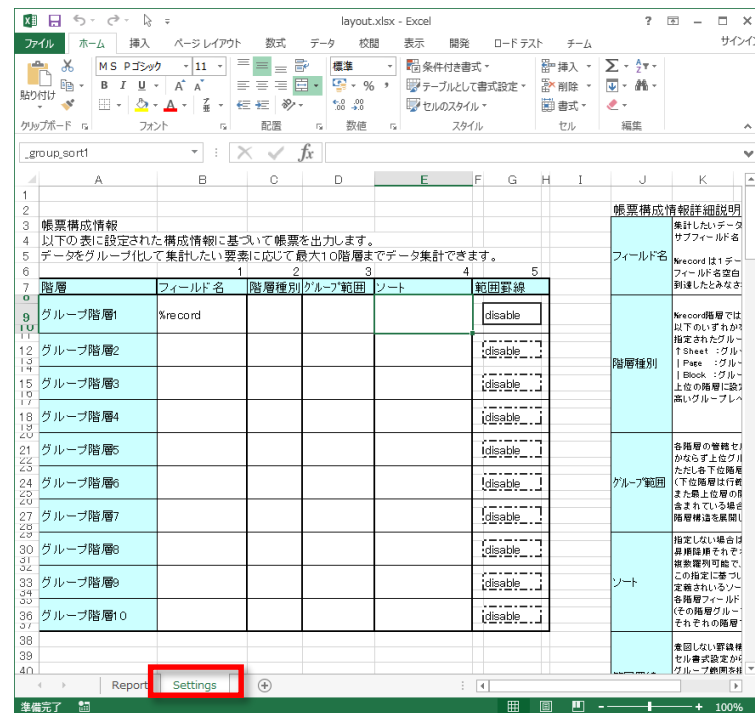
生成定義編集画面からレイアウト定義ファイルを編集します。編集ボタンを押すとEXCELが立ち上がりlayout.xlsxの内容を編集できます。レイアウト定義ファイルは[Report]と[Settings]という2つのシートで構成されます。



## [Report]

帳票デザインを設定します。

タイトルや表の枠組みなどを自由にレイアウトすることができます。



## [Settings]

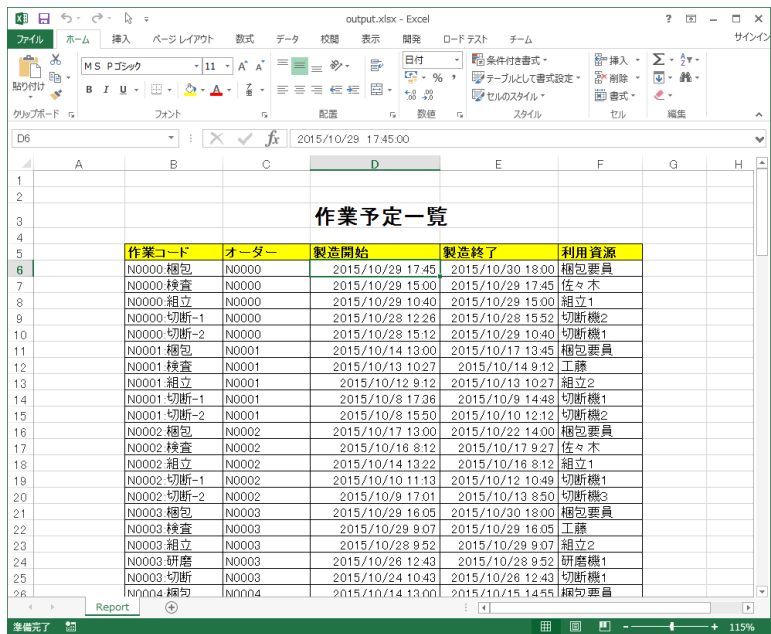
Reportシートでレイアウトした内容の解釈方法を設定します。この設定によってデータ要素に応じてどの行が増えるのかなどが決まります。

また、Reportシート内に記入できる書式説明などのリファレンスも兼ねています。



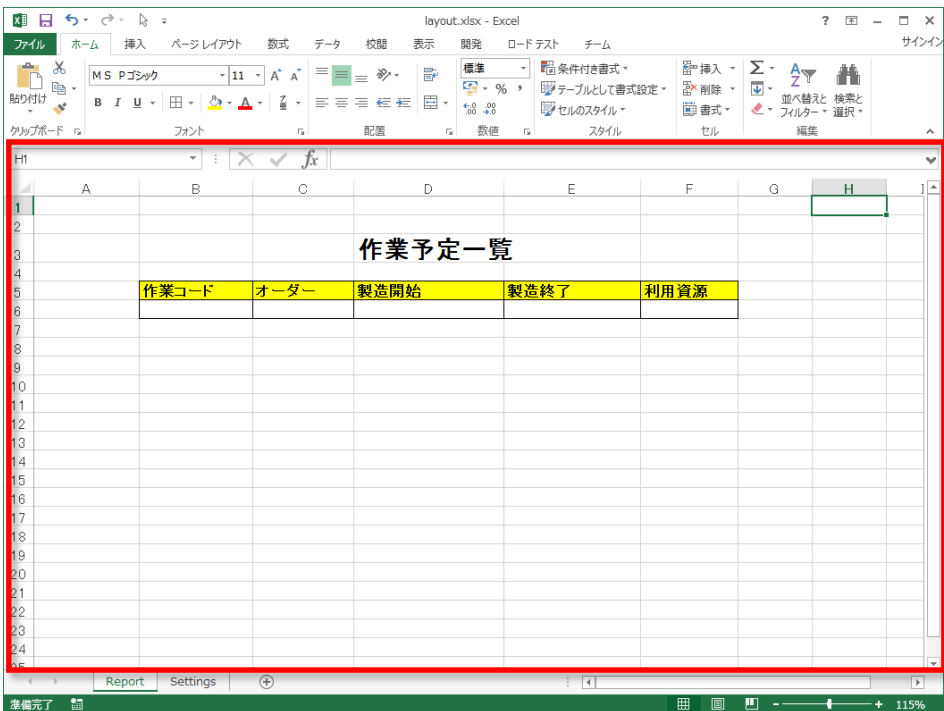
# レイアウトをデザインしよう

今回は下図のような帳票を作ります。



作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源	
N0000	梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000	検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000	組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000	切断-1	N0000	2015/10/28 12:28	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000	切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/28 10:40	切断機1
N0001	梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001	検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工事
N0001	組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001	切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001	切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002	梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002	検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002	組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002	切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002	切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003	梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003	検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工事
N0003	組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003	研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003	切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004	梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

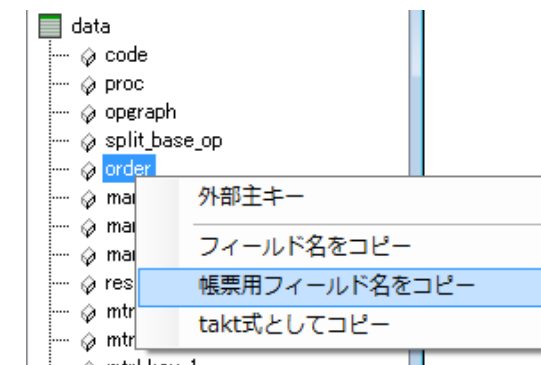
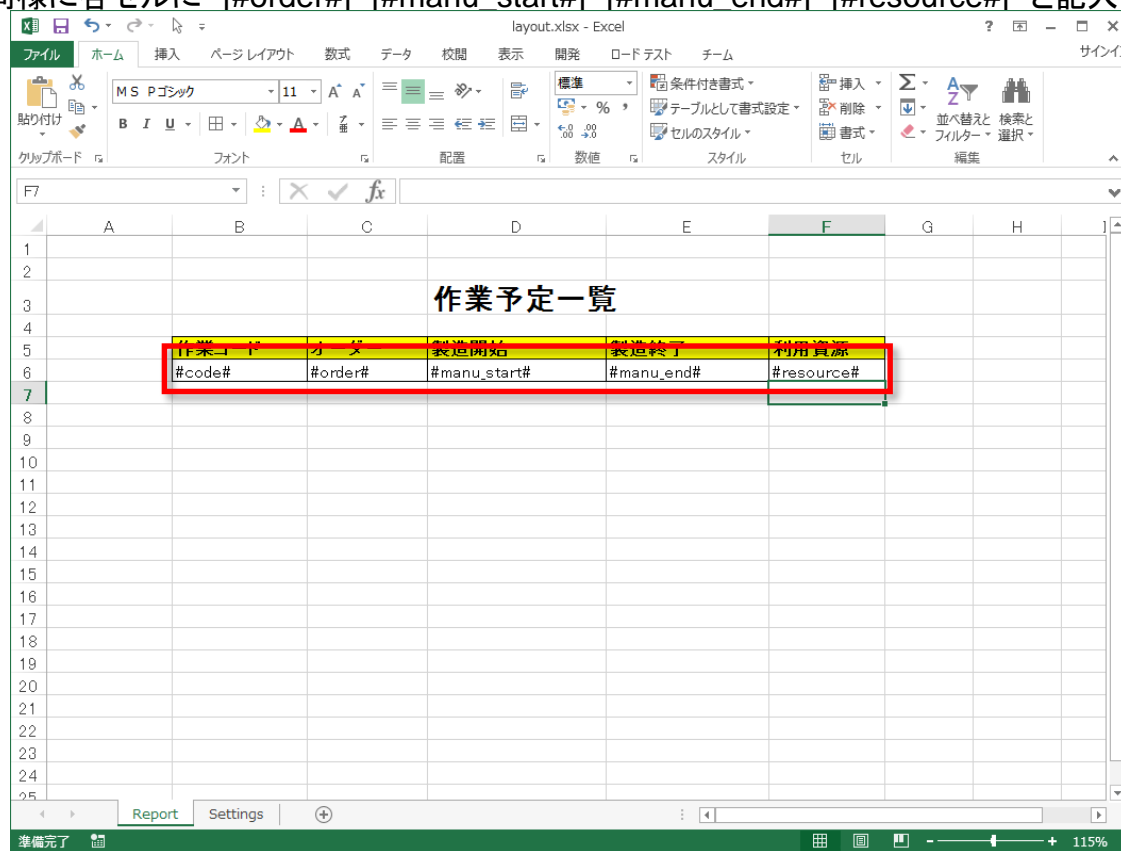
[Report]シートにレイアウトデザイン乗せていきましょう。最初は真っ白です。自由に編集して表形式のデザインを作ってください。



作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
-------	------	------	------	------

# レイアウトをデザインしよう

枠ができれば、どのセルに何の情報を表示するのかを設定していきます。  
 実際に作業コードを表示させたい箇所のセル内容に [#code#] と記入します。  
 表示させたいフィールド名を#括りで記述するのはExcel帳票機能の決まりごとです。  
 (このフィールド名はEDIFエクスポートした外部フィールド名が対応します。)  
 同様に各セルに [#order#] [#manu start#] [#manu end#] [#resource#] と記入してください。



EDIF構成ツールの外部フィールドのツリーでは  
 各要素を右クリックすると  
 #fieldname#  
 形式の文字列をクリップボードにコピーできます

デザイン用の[Report]シートはこれで完成です。引き続き[Settings]シートを設定します。

# レイアウトをデザインしよう

今回のデザインでは6行目の部分がデータ行で、データ件数に応じてこの行部分が繰り返される(肉付けされていく)ことを期待しています。

[Settings]シートにそのような解釈を記述します。

作業予定一覧

階層	フィールド名	階層種別	範囲	範囲罫線
グループ階層1	%record	B6:F6		disable
グループ階層2				disable
グループ階層3				disable
グループ階層4				disable
グループ階層5				disable
グループ階層6				disable
グループ階層7				disable
グループ階層8				disable
グループ階層9				disable
グループ階層10				disable

帳票構成情報詳細説明

フィールド名: 集計したいデータ要素のフィールド名を指すサブフィールド名は指定できません。

階層種別: %recordは1シート1レコード単位を指し、%record階層では無視されます。以下のいずれかを指定します。  
指定されたグループ範囲の単位で1シート : グループが変わるたびに1シート  
Page : グループが変わるたびに1ページ  
Block : グループが変わるたびにセル横上位の階層に設定されたグループレベル、高いグループレベルは指定できません。

範囲: 各階層の等幅セル範囲を(A1:B2)形式で必ず上階層のセル範囲に収め、また下階層の開始行を1行目としない場合は、また最上位層の開始行を1行目としない場合は、自動的にグループ階層構造を戻します。

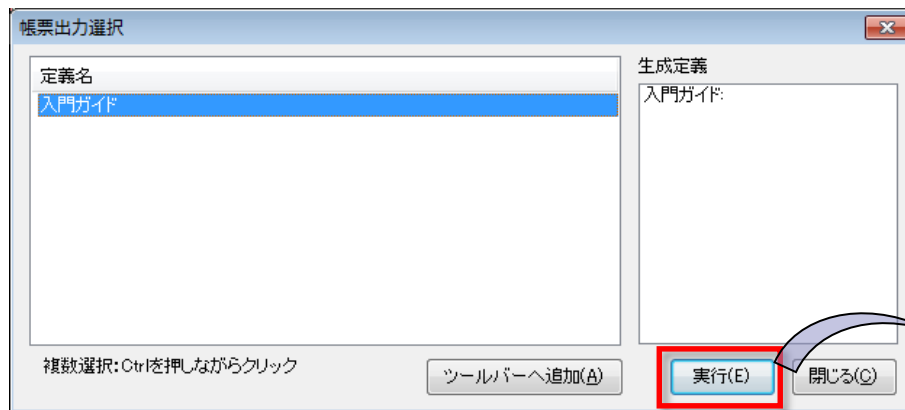
範囲罫線: 指定しない場合は階層フィールド名の昇順昇降階層それぞれ +- を接続文字とし、左向き階層可能で、先頭のみ +- を省略可能。この指定に基づいて最上位階層から上位に定義されるソート階層をもとにすべての各階層フィールドごとのデータ項であること(この階層グループで正しくデータがグルーされる)それぞれの階層で階層フィールドソート。

グループ階層1のグループ範囲に [B6:F6] と記入します。(各自のレイアウトデザインに応じてエリアの指定内容を変えてください)

これでlayout.xlsxも出来上がりです。保存してEXCELを閉じてください。設定はこれで完了です。帳票の設定画面も閉じてください。

# 帳票を出力してみよう

では帳票を出力してみましょう。  
メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力」 を選択してください。



出力したい実行定義を選択して、実行ボタンをクリックします。

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	42306.73958	42307.75	梱包要員
N0000 検査	N0000	42306.625	42306.73958	佐々木
N0000 組立	N0000	42306.44444	42306.625	組立1
N0000 切断-1	N0000	42305.51825	42305.66111	切断機2
N0000 切断-2	N0000	42305.63383	42306.44444	切断機1
N0001 梱包	N0001	42291.54167	42294.57292	梱包要員
N0001 検査	N0001	42290.43542	42291.38333	工藤
N0001 組立	N0001	42289.38333	42290.43542	組立2
N0001 切断-1	N0001	42285.73333	42286.61667	切断機1
N0001 切断-2	N0001	42285.65992	42287.50841	切断機2
N0002 梱包	N0002	42294.54167	42299.58333	梱包要員
N0002 検査	N0002	42293.34196	42294.39404	佐々木
N0002 組立	N0002	42291.55723	42293.34196	組立1
N0002 切断-1	N0002	42287.46786	42289.45119	切断機1
N0002 切断-2	N0002	42286.70961	42290.3687	切断機3
N0003 梱包	N0003	42306.67014	42307.75	梱包要員
N0003 検査	N0003	42306.37995	42306.67014	工藤
N0003 組立	N0003	42305.4112	42306.37995	組立2
N0003 研磨	N0003	42303.53024	42305.4112	研磨機1
N0003 切断	N0003	42301.44691	42303.53024	切断機1
N0004 梱包	N0004	42291.54167	42292.82153	梱包要員

帳票が表示されました。

しかし、開始/終了の内容がおかしくなっています。  
これは日時情報に対する書式指定が無いためです。

再度レイアウト定義ファイルを修正しましょう。

# 書式を修正しよう

生成定義編集画面を開き、レイアウト定義ファイルを編集します。  
先ほどの実行定義画面内からだけでなく、生成定義一覧画面から開くこともできます。

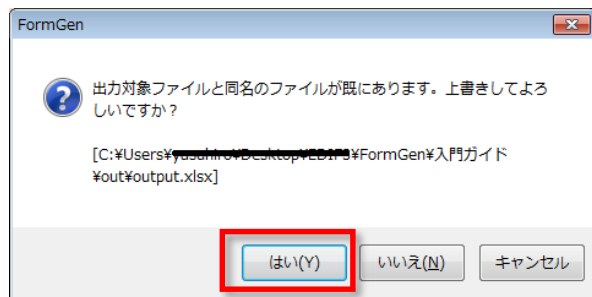
[#manu\_start#]、  
[#manu\_end#]  
の書式設定を開き  
日時フォーマットを  
指定します。

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
#code#	#order#	#manu_start#	#manu_end#	#resource#

保存して閉じてください。  
再度帳票を出力して結果を確認しましょう。

# 書式を修正しよう

先ほどと同じ手順でもう一度帳票出力してください。



出力先ファイルがすでに存在する場合は上書き確認メッセージが出ますので「はい」を選びます。(確認なしで常時上書きなども設定できます)

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000 検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000 組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000 切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000 切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001 梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001 検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001 組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001 切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001 切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002 梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002 検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002 組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002 切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002 切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003 梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003 検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003 組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003 研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003 切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004 梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

開始/終了日時が  
正しく表示されました。

FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド Version 18.0

2018年 12月発行

株式会社フレクシェ

〒140-0001 東京都品川区北品川1-19-5 コーストライン品川ビル2F

TEL: 03-6712-9549

FAX: 03-6712-9539

E-Mail: [info@flexsche.com](mailto:info@flexsche.com)

URL: <https://www.flexsche.com/>

本マニュアルの著作権は、株式会社フレクシェにあります。株式会社フレクシェの文書による承諾を得ずに、電子的、機械的、光学的またはその他のいかなる形や手段によっても、本書の一部または全部を無断で複製、翻訳、伝送、写本することはできません。

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

